

令和7年度 評価計画及び自己評価

(計画・中間・最終)

仁方中学校区 校番 1 学校名 呉市立仁方小学校

a 学校教育目標		自ら学び 心豊かな児童の育成		b 経営理念 ミッション・ビジョン		(ミッション)(学校の使命) 学校や郷土を誇りに思い、生涯にわたり生き抜く力【自己実現】や社会に貢献できる力【地域貢献】を身に付けた児童の育成 (ビジョン)(将来の学校像) ○生きる力(知・徳・体)を育成する学校 ○安全・安心な風土の高い学校 ○保護者・地域と協働し、信頼される学校									
c 中期経営目標を踏まえた現状(進捗状況)と今年度の重点		○全国学力・学習状況調査では、全国平均は上回ったものの、国語科では話すこと・聞くこと、算数科ではデータの活用に課題が見られた。標準学力調査では、国語科では、2・5年、算数科では2・4年が全国平均を下回った。市販テストの「思考力・判断力・表現力」においては、29%の児童が80%を超えることができず、40%を下回る児童が4%いた。学習と生活をつなぎ、生きた学力を身に付けさせるため、教材開発や思考を促す発問の工夫、学びをつなげる振り返り方の工夫などに取り組んでいく。 ○体力向上の継続的な取組を実施し、体を動かす楽しさを実感させ、体力向上につなげていく。 ○規範意識を高め、学校や社会のルールやマナーを守ろうとする態度を育成する。 ○自己肯定感や、他者との関わりなど、アンケートによると高い割合で肯定的であるが、実態が伴っていないため、具体的な場面を想定しながら指導を行う。 ○教科と関連させた防災教育を行い、実践的な避難訓練を行う。													
育成を目指す資質・能力		知識・技能 思考力・判断力・表現力 主体性・協働性 規範意識・公德心													
評価計画(中期経営目標を設定してから①・2・3年目)										自己評価					
重点	d 中期(3年間)経営目標	e 短期(今年度)経営目標	f 目標達成のための方策 (こんなことをして達成します)	g 指標 (効果を見とる目安)	h 目標値	上半期			下半期						
						i 達成値	j 達成度	k 評価	i 達成値	j 達成度	k 評価				
***	自己実現	① 主体的に学び、思考力・判断力・表現力を育てる。	① 生活をよりよくするために、自分の考えを深め、表現する授業づくり	国語科・算数科市販テスト「思考力・判断力・表現力」75 %以上の児童	80%										
			② 基礎学力の定着と向上	・基礎学力の定着「スキルタイム」「キュービナ」 ・読書活動(読書タイム・週末家庭読書) ・学力の補充「スマイルタイム」 ・自主学習「ぐんぐんノート」 ・複数教員による個別の支援体制	国語科・算数科市販テスト40%未満の児童	0%									
			③ 体力の向上	・体育の授業におけるサーキット運動の導入 ・委員会の取組 ・朝会でのボールの投げ方のレクチャー	ソフトボール投げ県平均以上	70%									
**	豊かな心	① 規範意識の向上	① 規範意識の向上	・黙想の徹底 ・無言掃除の徹底 ・ナイスな仁方っ子紹介カードの活用 ・生活目標の振り返り	「学校のきまりを守っている」児童	90%									
			② 安全・安心な風土の高い学校	・いじめの未然防止のための共感的人間関係の構築 ・積極的に肯定的な声かけや評価	「学校へ行くのは楽しい。」と感じている児童	90%									
				・ナイスな仁方っ子紹介カードの活用 ・心葉っぱの活用 ・教職員からの肯定的評価や児童同士の相互評価 ・生活目標の振り返り	「相手の気持ちを考えた言葉づかいや行動ができている。」と感じている児童	90%									
			③ 「自分の命は自分で守る」力の育成	・定期的なハザードマップの確認 ・土砂災害携帯マニュアルの確認 ・実践的な避難訓練の実施	「住んでいる地域に起こりやすい災害が分かる」児童 「災害時に避難する場所や避難の仕方が分かる」児童	100% 100%									
★	業務改善	教職員が自らの意欲と能力を発揮できる教育環境を整備する。	児童と向き合う時間を確保する。	・会議の精選・時間短縮や校内研修の計画的な実施	「児童と向き合う時間が確保されている」と感じている教職員	90%									
			長時間勤務を削減する。	・ICTの活用と業務の効率化 ・退勤時間設定と遵守	時間外勤務が月45時間を超えない教職員	80%									

【k:評価】
A:100≦(目標達成) B:80≦(ほぼ達成)<100
C:60≦(もう少し)<80 D:(できていない)<60